＜きゅうり（露地栽培）＞

・「おおさかアグリメール」で配信している、年間の主な作業を掲載しています。（気候条件等で前後することがあります。生育状況に応じて管理してください。）
・病害虫の発生は栽培ほ場の状況を良く観察し、毎月の病害虫発生情報は　http://www.jppn.ne.jp/osaka/index.html を参照してください。
・防除薬剤は『大阪府農作物病害虫防除指針http://www.jppn.ne.jp/osaka/shishin/body/mokuji.html 』を参照してください。

月	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
露地										トンネル被覆 は種		定植	は種（直まき）	摘芯・摘葉		収穫・追肥	かん水	病害虫防除	つる管理	病害虫防除																	
管理作業										【は種】 ▼平坦部で４月下旬に定植予定の場合、４月初旬が種をまく適期です。 ▼本田10ａ当たり、150mlの種子を用意しましょう。 ▼育苗箱に６cm間隔の条を切り、２cm間隔で種をまきます。覆土後、十分にかん水し、新聞紙等で被覆して乾燥を防ぎます。 【トンネル被覆】 ▼種まき後はトンネル被覆等によりしっかり保温し、発芽後、日中は適切な換気をして徒長を防ぎます。 ▼晩霜の心配がなくなったらトンネル被覆を外し、支柱を立て、約180cmの高さにネットを張ります。 【定植】 ▼植え付け２、３日程前に、うね全体が湿るようかん水した後、トンネル被覆し地温を上げておきます。 ▼本葉４、５枚の若苗を定植します。接ぎ木苗の場合は接ぎ木部分が地面に接しないよう注意しましょう。 ▼定植の際に粒剤を使用し、アブラムシ類、アザミウマ類等を防除しましょう。 ▼活着後は過かん水にならないように注意します。 ▼５、６節（約30cmの高さ）までに発生した子づる、幼果はすべて取り除きましょう。			【は種（直まき）】 ▼「直まき」の場合は、本田10ａ当たり200mlの種子を用意し、５月上旬に１カ所２粒まきし、砂などで軽く覆土します。 ▼本葉１枚の頃に間引いて１株にします。 【摘芯】 ▼主枝は目の高さで先端を小さく摘みとります。子づる・孫づるは新芽が２、３本残るように、実（雌花）の先２節で摘芯します。 ▼伸びすぎた枝を大きく切り戻すと草勢が低下するので、先端部のみを摘みとるようにしましょう。 【摘葉】 ▼繁茂してきたら古葉・病葉等を中心に摘葉します			【追肥】 ▼収穫始め頃から追肥を始めます。根を傷めないように株元から離して行います。 【かん水】 ▼かん水不足は曲がり果や尻細果の原因になります。通路に水がたまると湿害を受けやすくなるので梅雨入りまでに排水対策を行います。 【病害虫防除】 ▼べと病、炭そ病、つる枯病に注意しましょう。			【つる管理】 ▼草勢が低下し、側枝の発生が少なくなってきたら、摘芯を控えます。 ▼摘葉は、混んでいる葉を中心にこまめに行いましょう。 【病害虫防除】 ▼うどんこ病、ハダニ類等の発生に注意しましょう。													